

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	地理探究	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2 単位	教科書	新詳地理探究（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	新地理要点ノート（啓隆社） フォトグラフィア地理図説（とうほう）、ウイニングコンパス（とうほう） 地理総合・探究ワークブック（愛媛県高教研地歴・公民部会地理部門）						

学習目標	現代世界の地域的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地域的認識を養います。
------	---

キャリア教育の視点	地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分	自然環境、文化、政治、経済などの指標をもとに地域を区分すると世界はどのように区分できるか、位置や分布、地域の特徴などに着目して考察する。 それぞれの地域では、どのような地域的特色や地域的課題がみられるか、またどのような地域の構造や変化がみられるか、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して考察する。	中間審査
		2章 現代世界の諸地域		
		序説 地域の考察方法		
	5月	1節 中国		
		2節 韓国		
		3節 ASEAN諸国		期末審査
		4節 インド		
	6月	5節 西アジアと中央アジア		
		6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ		
	7月	7節 EU諸国		
2 学 期	8月	1章 持続可能な国土像の研究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な日本の国土像の研究	日本の強みや課題を理解したうえで、持続可能性を踏まえた将来の国土の在り方について、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して探究する。	
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学 期	1月 2月 3月			

学習の方法	教科書と地図帳を核として、副教材を活用して授業を展開します。地図帳や地球儀を使うことで空間的な認識を深めると共に、グラフや図表にも目を通し日頃から各種統計資料の活用を図ります。また、数多くの演習を通じて出題傾向をつかみます。更に作業を通じて地理的技能の育成を図ります。
-------	--

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期審査の得点と平常点で算出します。
-------	--

備考	週当たり4時間単位で、4月から8月まで延べ70時間実施します。
----	---------------------------------